

[1076/4Z-280-001]

Ver.18

4.内分泌学的検査 &gt;&gt; 4Z.その他の内分泌学的検査&gt;&gt;4Z280 オステオカルシン(BGP)

## オステオカルシン(BGP)

osteocalcin

連絡先 3764

患者同意について

検査結果に影響を与える臨床情報

オーダーボタン名(検体)

1076

001

オステオカルシン[ECLIA]

検査予約

至急オーダー

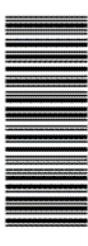
不可

検査オーダーに関する注意事項

患者の検査前準備

検体採取のタイミング

ラベル見本(検体)(単項目オーダー時)

キョウダ イテスト	
注	80 外
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
セカ2.	
	
血液	*_*_*_*_*_-90004
中検外2	**_*_*_*_*_*_*_*_*
C6	6ml

ラベル見本(細菌)(単項目オーダー時)

採取容器・検査材料

[1076/4Z-280-001]

Ver.18

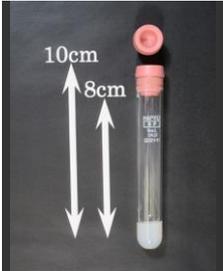
4.内分泌学的検査 &gt;&gt; 4Z.その他の内分泌学的検査&gt;&gt;4Z280 オステオカルシン(BGP)

## オステオカルシン(BGP)

osteocalcin

連絡先 3764

01	C6	凝固促進剤+血清分離剤(ピンク)	
採取材料	血液	採取量	6 mL
遠心分離		遠心	
測定材料	血清	測定必要量	0.3 mL



採取容器について

検体採取について

EDTA血漿も可

溶血検体で測定値が低下傾向

採取後検体の取扱い

検体搬送について

採取検体の保存条件

	保存検体種	優先 保存条件	保存条件1		保存条件2		保存条件3	
			温度	安定性	温度	安定性	温度	安定性
01	血清	保存条件1	凍結	4週				

受入不可基準

溶血	検体凝固	強乳び	採取量過不足	採取容器違い
不可				
尿材料違い	冷蔵保存なし	遮光保存なし	開栓	黄疸

検査に要する時間(生理検査)

再検査・追加検査の対応可能日数

検体到着日から60日間 (検体量ある場合のみ) &lt;br /&gt;

(分析物の安定性については「採取検体の保存条件」を参照)

[1076/4Z-280-001]

Ver.18

4.内分泌学的検査 &gt;&gt; 4Z.その他の内分泌学的検査&gt;&gt;4Z280 オステオカルシン(BGP)

## オステオカルシン(BGP)

osteocalcin

連絡先 3764

## 検体採取に関する注意事項・検査の実施に関する注意事項

検査機器	&nbsp;
検査所要日数	3～5日
検査部門・委託先	外部委託 (LSIメディエンス)
検査部門(平日時間内)	
検査部門(時間外・休日)	
検査結果報告について	
基準値設定材料・検査方法	
基準値設定材料	血液
検査方法	蛍光酵素免疫測定法 (FEIA)

## 生物学的基準範囲

	男性	女性	単位
00 オステオカルシン(BGP)	8.3 - 32.7	8.3 - 32.7	ng/mL

## 基準値情報

## 緊急異常値

## 電話連絡対応

## 臨床的意義

&nbsp;&nbsp;&nbsp;オステオカルシンは別名BGP (bone Gla protein; GIAは $\gamma$ -カルボキシグルタミン酸の意)ともいわれ49個のアミノ酸から成る蛋白質である。<br />&nbsp;&nbsp;&nbsp;骨芽細胞により合成され骨の非コラーゲン部位の10～20%を占め、一部GIA化したものが骨基質中に蓄積されて骨形成にかかわるが、血中にも放出される。<br />&nbsp;&nbsp;&nbsp;骨は常に骨形成を繰り返しているがBGPは骨芽細胞以外では産生されないため、代謝性骨疾患において骨代謝回転状態を把握するために有用なマーカーである。<br />&nbsp;&nbsp;&nbsp;活性型ビタミンDである1, 25 (OH) 2D3や甲状腺ホルモンの投与により刺激され上昇し、腎不全では排泄不良により著しい高値を示す。

## 異常値を示す病態・疾患

高値を示す病態<br /> 原発性副甲状腺機能亢進症, 甲状腺機能亢進症, 腎不全, 骨折, 高回転型骨粗鬆症 など<br />低値を示す病態<br /> 副甲状腺機能低下症, 甲状腺機能低下症, クッシング症候群, 低回転型骨

[1076/4Z-280-001]

Ver.18

4.内分泌学的検査 &gt;&gt; 4Z.その他の内分泌学的検査&gt;&gt;4Z280 オステオカルシン(BGP)

## オステオカルシン(BGP)

osteocalcin

連絡先 3764

粗鬆症 など

参考文献

LSIメディエンス 検査要項

JLAC10

分析物	4Z280	オステオカルシン(BGP)
識別	0000	
材料	023	血清
測定法	000	

変更履歴

Ver	文書更新日	変更適用日	内容
1	2008/04/01	2008/04/01～	制定
2	2014/03/28	2014/04/01～	委託先会社名変更(三菱化学メディエンス⇒LSIメディエンス)
3	2015/04/24	2015/04/01～	外部委託先変更(LSIM⇒BML), 報告日数変更
4	2016/03/24	2016/03/29～	検査方法・基準値変更(従来試薬販売中止のため)
5	2016/04/25	2016/04/01～	平成28年度診療報酬改定
6	2017/03/21	2017/02/23～	検体ラベル表記変更[O]⇒[ ]
7	2017/04/21	2017/03/10～	最低採取量・容器変更([2mL]⇒[3mL])
8	2018/04/06	2018/04/01～	平成30年度診療報酬改定
9	2019/04/30	2019/04/01～	外注業者変更([BML]⇒[LSIM])
10	2020/04/02	2020/04/01～	令和2年度診療報酬改定
11	2020/12/16	2020/12/17～	採血容器変更
12	2021/08/02	2021/05/27～	採血容器変更

[1076/4Z-280-001]

Ver.18

4.内分泌学的検査 &gt;&gt; 4Z.その他の内分泌学的検査&gt;&gt;4Z280 オステオカルシン(BGP)

**オステオカルシン(BGP)**

osteocalcin

連絡先 3764

13	2021/10/07	2021/10/01～	JLAC10測定法コード・検査方法・基準範囲変更
14	2022/03/09	2021/12/09～	採取名称部分に検体搬送先を印字
15	2022/08/01	2022/04/01～	令和4年度診療報酬改定
16	2022/12/01	2022/12/01～	受入不可基準などについて全面改訂
17	2023/12/21	2023/12/21～	必要検体量を追記
18	2024/06/04	2024/06/01～	令和6年度診療報酬改定